

(様式1)

平成25年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 066	提案機関名 JAかながわ西湘
要望問題名 湘南ゴールド 秀品果率の向上について	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模(面積、数量等) 】 湘南ゴールドの秀品果率を下げる下記の果実の対策の試験研究をお願いしたい。 ・ 粗皮果 ・ さび病果 ・ 赤斑点	
解決希望年限	(1年以内) <input checked="" type="checkbox"/> 2～3年以内 4～5年以内 5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> 農業技術センター 畜産技術所 水産技術センター 自然環境保全センター
備考	

ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業技術センター足柄地区事務所	担当部所	根府川分室
対応区分	実施 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 継続検討 実施済 調査指導対応 現地対応 実施不可		
試験研究課題名 (、 、 の場合) 新鮮で安全な農畜産物を安定して提供するための技術開発技術開発 4 湘南ゴールドの安定生産技術の開発			
対応の内容等 湘南ゴールドの粗皮果は、既存のカンキツ類と同様、果梗枝の太い上向き果が着く樹の上部や表層に多く見られることがこれまでの調査で分かっています。そこで、現在、表層や樹の上部 3 分の 1 を摘果する試験を実施し、粗皮果の削減の可能性について検討しているところです。 さび症状につきましては、従来の薬剤散布体系に加え 1 月のイミノクタジン酢酸塩・チオファネートメチル水和剤を散布することで発生が減少するという結果が得られています。今後、原因と考えられる炭そ病菌との関連を究明して参ります。 赤斑点の原因としてはいくつかの要因が考えられるため、現地調査による原因解明が必要です。現地調査の実施の際には協力致します。また、原因解明の後には対応策を検討、提示させていただきます。			
解決予定年限	1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> 2～3年以内 4～5年以内 5～10年以内		
備考			